

北海道食の輸出拡大戦略推進状況報告書（平成29年上期）

平成29年10月
北海道

1 輸出実績（現状）

平成29年上期（1月～6月）の道産食品の輸出額は293億円、前年同期比6%増となった。

水産物・水産加工品の輸出額は、主力のホタテガイについては、平成26年の大型低気圧などの影響による減産に伴い、大幅に落ち込んだ前年同期から微増の3.0億円増（2%増）に留まっているが、ナマコやヒラメ・カレイ類などのその他魚種の増加もあり、トータルで前年同期比15.2億円増（7%増）となった。

農畜産物・農畜産加工品の輸出額は、ミルク・クリームは0.7億円増（21%増）など拡大傾向にある品目はあるものの、主力のながいもについては、平成28年産の輸出向け大型規格が台風等の影響で生産減となり1.9億円減（22%減）となったほか、たまねぎについては、平成28年産の国内市場における需要が大きかったことから、輸出量が減少したため5.8億円減（94%減）となったことなどにより、トータルで前年同期比6.8億円減（33%減）となった。

その他加工食品の輸出額は、企業の海外進出などにより、菓子類は8.6億円増（41%増）、麺類は0.2億円増（46%増）と大きく伸びたとともに、調味料は0.1億円増（13%増）などにより、トータルでも前年同期比7.8億円増（25%増）となった。

【品目別】

| 項目 | H27年 通年 | H27年 上期 | H28年 通年 | H28年 上期 | H29年 上期 | H29年上期 対前年同期増減額(前年比) | 主な増減品目輸出額(前年同期増減額) | |
|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|----------------------|--------------------------|--|
| | | | | | | | 品目 | 輸出額(億円) |
| 水産物 水産加工品 | 688.7 | 341.8 | 585.7 | 224.9 | 240.1 | +15.2億円 (107%) | ホタテガイ ナマコ その他 | 147.5億円 (+3.0億円) 52.5億円 (+7.4億円) 40.0億円 (+4.8億円) |
| 農畜産物 農畜産加工品 | 37.9 | 14.4 | 41.5 | 21.0 | 14.2 | △6.8億円 (67%) | ながいも ミルク・クリーム たまねぎ | 7.0億円 (△1.9億円) 4.1億円 (+0.7億円) 0.4億円 (△5.8億円) |
| その他加工食品 | 46.0 | 16.5 | 74.8 | 31.0 | 38.9 | +7.8億円 (125%) | 菓子類 麺類 調味料 | 29.8億円 (+8.6億円) 0.8億円 (+0.2億円) 1.0億円 (+0.1億円) |
| 合計 | 772.6 | 372.7 | 702.1 | 276.9 | 293.1 | +16.2億円 (106%) | | |

注)「増減額」は千円単位で計算。端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。

【主な地域別】

| 地域 | H27年 通年 | H27年 上期 | H28年 通年 | H28年 上期 | H29年 上期 | H29年上期 対前年同期増減額(前年比) | 主な増減品目輸出額(前年同期増減額) | |
|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|----------------------|--------------------|-------------------------------------|
| | | | | | | | 品目 | 輸出額(億円) |
| ASEAN | 110.1 | 58.9 | 86.6 | 38.9 | 34.3 | △4.6億円 (88%) | ホタテガイ 菓子類 | 4.6億円 (△8.8億円) 8.4億円 (+2.7億円) |
| 中国、台湾 香港、韓国 | 516.4 | 265.2 | 520.1 | 200.0 | 236.3 | +36.3億円 (118%) | ホタテガイ たまねぎ | 122.6億円 (+30.6億円) 0.4億円 (△5.6億円) |
| ロシア | 9.4 | 4.5 | 3.8 | 2.3 | 2.7 | +0.4億円 (118%) | たまねぎ サンマ | 1百万円 (+0.2百万円) 1.5億円 (+1.3億円) |
| 欧米 (除ロシア) | 121.2 | 38.3 | 87.0 | 33.9 | 18.7 | △15.2億円 (55%) | ホタテガイ 菓子類 | 12.2億円 (△15.4億円) 0.9億円 (+0.4億円) |
| 中東 | 0.2 | 0.1 | 0.6 | 0.4 | 0.3 | △0.04億円 (89%) | 牛肉 | 19百万円 (+18百万円) |

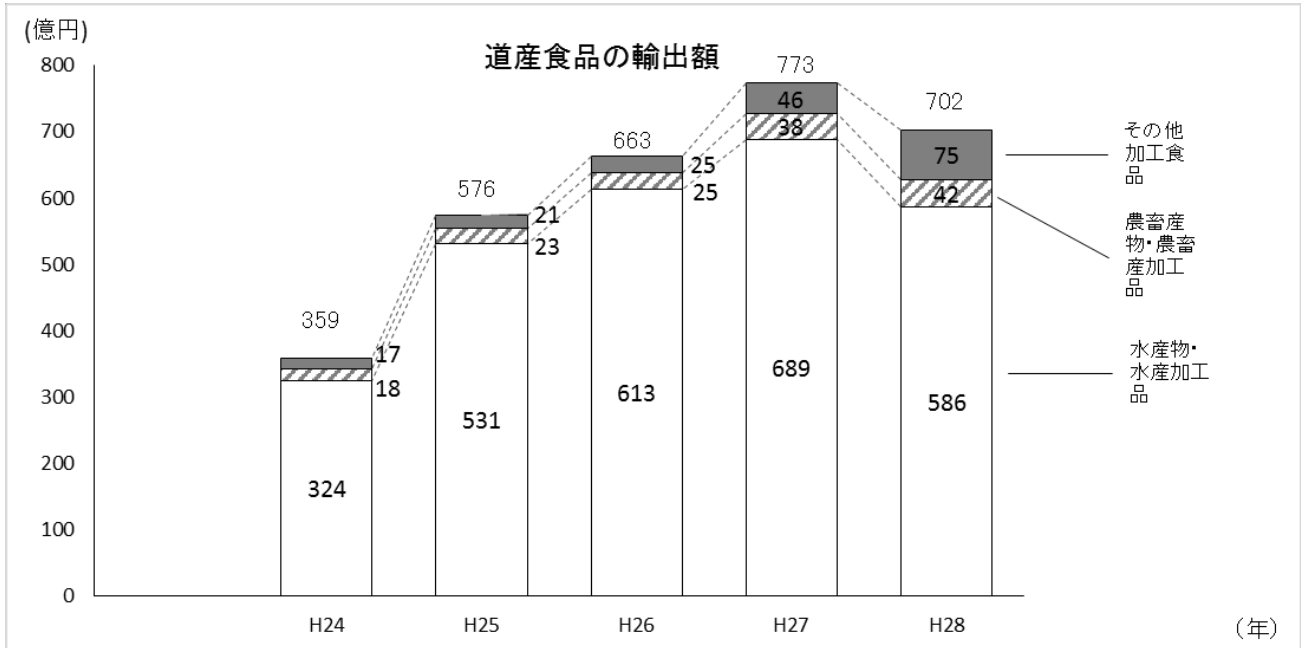
注)「増減額」は千円単位で計算。端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。

【参考：ホタテガイの生産状況等】

平成29年上期の生産状況について、オホーツク海域は33,390トン（前年同期比24.3%減）、噴火湾海域は28,967トン（前年同期比53.7%減）、全体では90,094トン（前年同期比35.2%減）と、昨年に続き低調となっているが、来期の出荷員については今のところ順調に生育しており、生産の回復が見込まれる。

〔H29生産量：北海道水産現勢（速報値：平成29年8月末時点）〕

【輸出額の推移（H24～H28）】



自然災害などによるホタテガイの減産の影響等により、平成28年は前年より1割減少となったが、ここ5年間で輸出額は倍増。

2 道内の動き

1. 輸出施設の整備

- 水産食品のHACCP認定施設～対米輸出施設が新たに2か所認定（平成29年1月、6月）
- と畜場～米国向け牛肉の輸出食肉取扱施設の認定に向けて米国基準に適合した体制等の整備中

【主な認定等】

| | |
|--------------------|--|
| 対米・EU水産食品HACCP認定施設 | H27年末現在80施設 → H28年末現在82施設 → H29年6月現在84施設 |
| 台湾向けりんご選果こん包施設登録 | H27年末現在 0施設 → H28年末現在 2施設 → H29年6月現在 1施設 |
| 牛肉の輸出食肉取扱施設認定 | H27年末現在 5か国 → H28年末現在 6か国 → H29年6月現在 6か国 |

2. 企業等の状況

海外向けの商談会の参加企業数や産地証明書の発行枚数が増加しており、輸出に取り組む企業のすそ野が拡大。

| | |
|----------------------|--|
| 海外向け商談会参加企業数（のべ） | H26年度 273社 → H27年度 353社 → H28年度 512社 |
| 産地証明書の発行枚数（農産物、加工食品） | H26年度 3,000件 → H27年度 3,900件 → H28年度 4,700件 |

3. 物流拠点の整備

- 札幌国際エアカーゴターミナル株式会社における新たな上屋の整備（平成30年夏頃竣工予定）

4. 積極的な海外展開（事例）

- 工場の新ライン整備による中国向け輸出の開始
 - ・北海道工場（千歳市）にシリアル製造の新ラインを整備し、平成29年7月より、中国向けの輸出を開始
- フィリピンにマイワシの缶詰を輸出
 - ・平成29年6月、本格的な海外展開に向けた市場調査を目的に、マイワシ缶詰8万個をフィリピンに輸出
- ながいものブランド強化
 - ・アメリカ市場における中国産との差別化を図るため、平成29年5月、国際的な食品安全規格のSQF認証を取得
- スイーツの輸出に向けた工場増設
 - ・中国等のアジアを中心に輸出増を目指し工場（千歳市）を拡張（平成29年12月着工、平成30年6月に稼働）
- ロシアへのたまねぎの輸出促進
 - ・ロシアへのたまねぎの輸出を促進するため、ロシア人バイヤーを招聘し貯蔵施設など関連施設の視察を実施予定。
- 香港向けの冷凍混載輸送を開始
 - ・石狩湾新港・香港間の海上コンテナによる冷凍混載輸送を平成29年6月再開
- 地域におけるインバウンドを活用した輸出促進の取組
 - ・商談力向上に向けた講座や海外バイヤーとの商談会などを実施
- 航空便による道産野菜の香港への輸出
 - ・香港のスーパー等に販路を有する道外企業と連携し、平成29年8月より航空便での輸出を開始

3 取 組

1. 課題

平成29年上期の輸出額が前年同期比で微増にとどまっております。道産食品の一層の輸出拡大に向けて、一次産品の安定生産に向けた取組を進めることにより生産量の回復を図るとともに、輸出施設の国際認証等の取得の促進や、輸出に取り組む事業者等の更なる拡大、さらに、効率的な物流網の構築と一体となった販路の開拓、北海道ブランドの一層の浸透が必要である。

- ① 一次産品の安定生産と輸出の体制づくり
- ② 輸出に取り組む事業者等の裾野の拡大と輸出品目の多様化
- ③ 効率的な物流網の構築及びこれと一体となった販路開拓
- ④ 北海道ブランドの効果的な浸透

2. 施策展開の方向

庁内関係部局はもとより産業横断の「オール北海道」体制によって以下のテーマを中心にした取組を加速するとともに、技術開発や雇用労働などの施策と連動し、本道の食の可能性を最大限に発揮する環境を整え、食産業の更なる振興に結び付けながら、道産食品の輸出目標の達成に向けて取り組む。

（1）一次産品の安定生産と輸出の体制づくり

- ① ホタテガイの生産の早期回復と安定化（ハザードマップの活用による災害に強い漁場づくり、密度管理や適期作業などの養殖技術の指導）
- ② 牛肉やホタテガイなどの輸出向け施設の整備等の促進（と畜・流通加工施設の相手国の検疫条件への対応、HACCP等国際認証取得の促進など）
- ③ 食産業の国際競争力強化（フード特区による企業と一次産業との連携促進プロジェクトなど）
- ④ 輸出先国、輸出品目の拡大（現地ニーズを踏まえた製品開発やPR、輸出先国における継続的な売場の設置など）

- (2) 輸出に取り組む事業者等の裾野の拡大と輸出品目の多様化
 - ① 企業等の海外展開の円滑化（海外拠点を活用した情報収集、フード特区やジェトロのアドバイザー等を活用した支援）
 - ② 海外展開に取り組む事業者の拡大（地域、輸出先等に応じた輸出チームづくりなど）
 - ③ 輸出商品の多様化（鮮度保持や賞味期限延長など公設試と連携した技術の開発普及、どさんこプラザを活用したテストマーケティングや定番化支援）
 - (3) 効率的な物流網の構築及びこれと一体となった販路開拓
 - ① 道内と海外を結ぶコールドチェーンの構築（航空路線を活用した販路開拓、港湾における冷蔵・冷凍機能の強化など）
 - ② 効率的な輸送体制づくり（民間企業等との連携による混載輸送や物流の共同化など）
 - ③ 商流と物流が一体になった販路拡大（航空路線を活用した飲食店向けの販路開拓など）
 - ④ 継続的・安定的な販路の拡大（道や金融機関の海外事務所やどさんこプラザなどを活用した情報収集と取引実現に向けた支援、道内支援機関の連携によるきめ細やかなハンズオン支援）
 - (4) 北海道ブランドの効果的な浸透
 - ① 地域製品の認知度向上（来道外国人を通じた地域製品の情報発信など）
 - ② 食の北海道ブランドの浸透（友好提携を活用した北海道の多様な魅力の発信、新たな魚種を含めた多様な道産水産物の魅力のPRなど）
 - ③ 産業界間の連携強化（品目・地域横断による商談会、料理メニューの提案などによる農水産物・加工品の魅力発信など）
 - ④ 新市場の開拓（中東向けテスト輸出を通じたPRとノウハウ集積など）
 - ⑤ ブランド保護（ジェトロなどとの連携による知的財産保護、道産食品輸出用シンボルマークの浸透など）
- ※ 取組の加速
- ASEAN事務所やどさんこプラザなど海外拠点のもつノウハウとネットワークの効果的な活用
 - 食クラスターやフード特区の新計画の推進などによる業界の垣根を越えたオール北海道の連携の強化

3. 平成29年度道等の取組（平成29年4月～平成30年3月）

■基本戦略

| 戦略 | 取組項目 | 主な取組 |
|-----------|-----------------------------|---|
| 商流・物流網の整備 | 商流確立に向けた支援 | ○品目別のプロモーションや通年で道産農畜産物を安定的に輸出する体制を構築するための継続的な売場の設置 ○アドバイザーの配置による道内企業の海外展開支援 |
| | 物流機能の整備・充実 | ○民間企業等との連携による既存の輸出ルート等を活用した小口貨物の混載輸送の実践・検証 ○北極海航路の活用に向けた拠点機能等の検討・調査 |
| 輸出支援体制の確立 | 輸出可能な商品の生産・製造の拡大 | ○一次製品の安定生産に向けた取組 ○企業と一次産業との連携促進 |
| | 道や関係機関・団体・企業の連携による輸出支援体制の確立 | ○道産食品輸出拡大戦略推進協議会の開催 |
| | 北海道ブランドの浸透など | ○海外アンテナショップでのテスト販売及びプロモーション ○多様な道産品を一堂に集めた北海道フェアの開催 ○来道外国人を通じた地域製品の情報発信 |
| 新たな市場への展開 | 食材輸出の拡大 | ○道・ホクレン・ぎょれんの連携による北海道産食材のプロモーション ○ブリ、サバ、イワシやサケの高次加工品を主体とした製品PR、鮮魚輸出の実施・拡大に向けた試験輸出等 |
| | イスラム圏市場の需要獲得 | ○イスラム圏市場の開拓に向けた商談会の開催 |
| | 機能性食品等の販路開拓 | ○機能性食品、スイーツの販路開拓に向けた海外におけるバイヤー等との商談会等の開催 |

■品目別展開方向（推進プラン）

(1) 水産物・水産加工品

| 重点品目 | 推進プラン | 主な取組 |
|-------|--|---|
| ホタテガイ | ブランド保護による既存輸出先の販路維持 【中国等】 | ○生産者団体による中国における実態調査や商標保護等ブランド保護対策の実施 |
| | 高付加価値市場向け販路開拓 【EU、アメリカ等】 | ○ホタテガイの生産回復の取組 ○海域モニタリングを実施するとともに、国の施策の活用、水産加工業者を対象とした講習会の開催による対米・対EU-HACCP認定取得の促進 |
| サケ | 加工原魚向け安定的な販路の確保と高付加価値市場の開拓 【中国、ASEAN、EU等】 | ○資源回復に向けた調査・研究を進めるとともに、国の施策の活用や水産加工業者を対象とした講習会の開催による対米・対EU-HACCP認定取得の促進 ○産業団体と連携したASEAN向けの販路開拓 |
| 高次加工品 | 新規販路の開拓 【シンガポール、タイ、香港、台湾、中国等】 | ○シンガポール、タイ、香港等において秋サケ加工品等の製品PR |
| 高鮮度商材 | アジア富裕層向け販路開拓（飲食店） 【シンガポール、香港、中国等】 | ○ブリ、サバ、イワシを主体とした製品PR、鮮魚輸出の実施・拡大に向けた試験輸出等 |

(2) 農畜産物・農畜産加工品

| 重点品目 | 推進プラン | 主な取組 |
|------|--|--|
| コメ | ASEAN・東アジアにおける販路拡大 【香港、シンガポール、タイ、インドネシア等】 | ○道・ホクレン・ぎょれんの連携によるバンコクでの北海道産食材のプロモーション等 ○生産者団体による香港、シンガポールでの販路開拓 |
| | コメ加工品（日本酒）の販路拡大 【シンガポール、香港、中国等】 | ○酒類メーカーと連携した道産酒のPR |
| | 中国市場の販路構築 【中国】 | ○中国における北海道米のプロモーション |
| 青果物 | ながいもの販路拡大 【アメリカ、シンガポール、マレーシア、台湾等】 | ○生産者団体が国際的な食品安全規格であるSQF認証を取得 |
| | 青果物の販路拡大 【台湾、シンガポール、香港等】 | ○通年で安定的に輸出する体制を構築するための継続的な売場の設置 ○道・ホクレン・ぎょれんの連携によるバンコクでの北海道産食材のプロモーション等 ○LCC（スクート）を活用した青果物のテスト輸出 |
| 牛肉 | ASEAN向け販路拡大 【シンガポール、タイ、ベトナム等】 | ○北海道産牛肉のシンガポール・タイ・ベトナムでのプロモーション ○道・ホクレン・ぎょれんの連携によるバンコクでの北海道産食材のプロモーション等 |
| | 新規市場向け販路構築 【アメリカ等】 | ○米国向け食肉検査業務体制を整備し輸出施設の認定申請に向けて支援 |

(3) その他加工食品

| 重点品目 | 推進プラン | 主な取組 |
|------|--|---|
| 菓子類 | 新規・成長市場向け販路拡大 【香港、台湾、シンガポール、タイ、中東等】 | ○海外バイヤーを招へいした商談会の開催や生産現場視察の実施 ○海外アンテナショップによるマーケティング支援 ○海外におけるバイヤー等との商談会等の開催 |
| | 既存市場におけるブランドの再構築 【中国、韓国、ロシア等】 | ○現地事務所における情報発信支援 |

| | | |
|------|--------------------------------------|--|
| 機能性品 | 成長市場向け販路開拓 【ASEAN、香港、台湾、中国、アメリカ等】 | ○海外におけるバイヤー等との商談会等の開催 ○現地事務所のSNS等を活用したインバウンド向けイベント情報の発信 |
|------|--------------------------------------|--|

■国・地域別展開方向

| 国・地域 | 主な取組 |
|----------------|--|
| ASEAN | ○現地事務所（ASEAN事務所）や現地に配置するアドバイザーを活用した商談支援や情報発信 ○市町村、地域の企業、生産者等が一体となった輸出拡大の取組の支援 ○北海道の「食」などをPRするため、セミナーや道産食材を用いた料理の提供によるレセプション開催等 ○品目別のプロモーション ○道・ホクレン・ぎょれんの連携による北海道産食材のプロモーション |
| 中国、台湾 香港、韓国 | ○市町村、地域の企業、生産者等が一体となった輸出拡大の取組の支援 ○現地事務所（上海事務所、ソウル事務所）を活用した現地情報の提供やプロモーション ○品目別のプロモーションや通年で道産農畜産物を安定的に輸出する体制を構築するための継続的な売場の設置 |
| ロシア | ○現地事務所（サハリン事務所）を活用した道産食品の認知度向上に向けたプロモーション ○ユジノサハリンスク市内のスーパー内に「PR・販売拠点」を設置し道産食品のPRを実施 ○商品の発掘やフェア・商談会の開催による輸出に取り組む道内企業の支援 ○「イノプロム2017」における、知事のトップセールス、経済ミッション派遣 |
| 欧米 | ○水産物における対米・対EUのHACCP認定取得の促進 ○米国向け牛肉の食肉検査業務体制を整備し輸出施設の認定申請に向けて支援 ○市町村、地域の企業、生産者等が一体となった輸出拡大の取組の支援 |
| 中東 | ○UAEにおける水産物、コメ、青果物等の商談会を開催 |

■テーマ別展開方向

| テーマ | 主な取組 |
|--------------|---|
| 道産食材輸出プロジェクト | <p>■地域や生産者団体と連携し、物流の実証実験を行いながら、農畜産物・水産物・加工食品を一堂に集めたハイエンドの飲食店向け商談会をシンガポールにおいて開催。</p> <p>○産地における取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸出促進に向けた生産者団体、行政、関連事業者による連携体制の構築 <p>○海外展開の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航空路線を活用した輸出ルートの構築 ・シンガポールにおけるハイエンドの飲食店向け調理提案・商談会の実施 ・商談会における地域や生産者団体によるプロモーション ・どさんこプラザシンガポール店における商品PR ・現地アドバイザーによるフォローアップ（ターゲット顧客訪問） <p>■北海道ブランドの効果的な浸透</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域産品の情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・来道外国人を通じた地域産品の情報発信 <p>■フード特区による産業連携推進オフィス設置により企業と一次産業との連携促進</p> <p>■HACCPやGAP等の国際認証の取得を促進</p> |

| | |
|------------------------------|--|
| <p>高付加価値食品 輸出プロジェクト</p> | <p>■輸出に取り組む事業者が効果的に取引に結びつけられるようバイヤー招へい、商談会、プロモーション等の取組を組み合わせ、販路拡大の取組を推進。</p> <p>○発掘</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道産スイーツの輸出機運醸成に向け、海外バイヤーを招へいした商談会の開催や生産現場視察の実施 ・地域の企業訪問・調査による商品の掘り起こし ・バイオ業界、菓子業界と連携した海外販路開拓 ・免税対応した道内外のどさんこプラザにおける来日外国人の購買データの蓄積、分析 <p>○磨き上げ・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外バイヤーの招へいによる現地ニーズの把握 ・海外アンテナショップを活用した商品PRや磨き上げ支援 ・テスト輸出による輸出可能性の検証 ・海外事務所による現地情報の提供や現地での取組支援 ・事業者向け個別相談機会の提供 <p>○商流の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商談会の開催による販売先とのマッチング ・現地アドバイザーによる商談支援・フォローアップ ・外国語版パンフレットやWebサイトの作成によるインバウンド向けPR ・フェア開催による北海道ブランドのPR |
| <p>新規市場開拓 プロジェクト</p> | <p>■水産物、農畜産物、加工食品の販路開拓に向け、テスト輸出と商談会を組み合わせ、効果的な市場開拓を推進。</p> <p>○取組企業の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー開催（全道3地域）による販路開拓に向けた知識の周知、企業訪問・個別相談実施 <p>○輸出環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テスト輸出による輸出可能性や市場可能性の検証 <p>○認知度の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テスト輸出商品に係る現地流通網へのセールスコール・ヒアリング・商談会の開催 ・食を含めた北海道の魅力を丸ごと発信 |
| <p>共同物流システム 確立プロジェクト</p> | <p>■テスト輸出などによる新たな物流機能や物流ルートの構築に向けて関係機関の連携のもと取組を推進。</p> <p>○商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問・アンケート調査等による商品の掘り起こし ・海外アンテナショップを活用した商品PRや磨き上げ支援 <p>○物流網の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空港、港湾における物流機能の強化 ・新千歳空港における貨物受入の24時間対応 ・航空物流に関する関係者連絡会議の開催 ・航空路線を活用したコストや鮮度保持の実証事業 ・テスト輸出による輸出可能性の検証 ・民間企業等との連携による既存の輸出ルート等を活用した小口貨物の混載輸送の実践・検証 <p>○商流の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商談会の開催による販売先とのマッチング ・現地アドバイザーによる商談支援・フォローアップ |

■その他

| テーマ | 主な取組 |
|----------|--|
| 技術開発・普及等 | <p>■道総研、地域食品加工技術センター、工業技術センターが、関係機関と連携し、農業、水産業、工業、食品産業等の分野に関する試験、研究、調査、普及、技術開発、技術支援等を実施。</p> <p>○技術の開発・普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・じゃがいもの自動芽取り・傷み除去システムの開発 ・ホタテガイ漁業の海底可視化技術開発 ・新たなサケ放流体系の確立 等 <p>○新商品開発の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術相談・指導、企業等への技術開発派遣指導、講師等派遣 ・試験・分析、試作実証施設使用、インキュベーション施設貸与、研修会等の開催 等 |
| 人材の育成・確保 | <p>■雇用創出基本計画に基づく雇用の受け皿づくり、就業の促進などの取組を推進。</p> <p>○就業促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・求職者向けセミナー、企業見学会、企業説明会 ・事業者向け人材確保セミナー 等 <p>○人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域フード塾（マーケティング人材） ・衛生管理や品質管理等の研修・セミナー 等 |

■連携推進体制

| テーマ | 主な取組 |
|-------|--|
| 庁内連携 | <p>副知事、庁内関係部長等で構成する「食の輸出拡大戦略推進本部員会議」を開催し、品目分野ごとの輸出の実績や課題などを踏まえ、関係者が共通の認識に立って、商流と物流が一体となった新たな海外販路の開拓など連携の取組を推進。</p> |
| 産業間連携 | <p>一次産業や食品加工業をはじめとする関係機関で構成する「道産食品輸出拡大戦略推進協議会」を4回開催し、輸出拡大に向けた課題や対応策などについて情報交換等を行うとともに、輸出実務ノウハウをもつ機関で構成される「海外販路開拓支援プラットフォーム」を活用し、道内事業者の販路開拓の取組をハンズオン支援。</p> |